

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年10月1日				
ディグ・スマイル・前橋東教室						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		規程に基づいた支援スペースとなっています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9		個別対応や緊急時に対応できる職員配置となっております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		スケジュールボード等、視覚的にわかりやすい工夫を行っています。玄関等の段差では、見守りや言葉かけを行い、けが防止に努めています。	現在、車いすを利用されているお子様はおりませんが、玄関に段差があるため、車いすへの配慮が別途必要な状況です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		環境整備に努め、清掃と設備チェックは定期的に行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		個別の場所の要望があれば、相談室等を活用できます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		朝礼・終礼で業務改善のためのミーティングを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	保護者様からの要望や意見にできる限り応えられるよう業務改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎日の朝礼等で取り組んでいます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5	第三者評価は実施しておりませんが、内部監査を実施しています。	職員への周知が不十分な部分があるため、周知徹底していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		定期的な研修を行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		5領域に即したプログラムを実施しており、カレンダー等で公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		アセスメント内容や日々の様子からお子様に合わせて計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		職員間で情報共有を行い、支援の方向性等の見解の一致を図っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		支援計画の作成時に検討会で内容を周知したり、支援前に確認する機会を設けたりしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		標準化されたツールと日々の行動観察の両方を職員間で共有しながら支援にあたっています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		個別支援計画内に記載しており、必要に応じて取り組んでいます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		担当が立案したものをチームで検討し、相互サポートの体制をとっており、全職員が広く携わる体制となっています。	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	同じプログラムであっても教材等を変え、お子様たちが関心をもって取り組めるよう工夫しています。	短期間で同じプログラムが複数回実施されていることがあります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		個別と集団の活動をそれぞれ確保しており、集団が苦手な利用者に対しては、空間共有などで孤立しないように努めています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		当日出勤の職員で話し合いをするほか、不在の職員へも共有を行うことで、チーム支援が行えるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		終礼時や翌朝時に取り組んでいます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		気になったこと等を詳細に記録し、内容を職員間で検討する機会を設けています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		随時行い、活かせるよう努めています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		適宜行えるよう努めており、必要に応じて個別に対応することもあります。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		視覚的支援も取り入れながら、自己選択ができるよう努めています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		適切に対応し、支援に活かすよう努めています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	必要に応じて参加しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		送迎時等に情報共有を行い、緊急時にも連携が取れるようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		必要に応じて行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		必要に応じて行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	4		機会があれば、積極的に参加していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	3	地域の児童館や公園を利用した際に交流の機会となっています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	6	必要に応じて取り組んでいます。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時や保護者面談等でお子様の様子について話す機会を設けています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		定期的に保護者面談を実施しています。	定期的な開催はありませんが、要望に応じて実施していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		取り組むよう努めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		更新時に説明を行い、同意を得られています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		必要に応じて対応しており、定期的な面談予定も組んでいます。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	7	納涼祭等、保護者様にも参加いただけるイベントを準備しております。	現在、父母の会等の開催はありませんが、要望に応じて検討していきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		迅速に対応するよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		カレンダーやディグニュース（事業所からのおたより）の配布を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		定期的な注意喚起を行い、書類に関しては、鍵付きキャビネットでの保管を徹底しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		視覚的支援も取り入れながら、個々の個性に合わせた伝え方に配慮して行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5	納涼祭等、保護者様等が参加できるイベントを開催しており、また、いつでも見学受け入れの準備があります。	現状、防犯面等により実施しておりませんが、必要に応じて実施していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		マニュアルの周知を行い、災害・不審者等の分類ごとにわかりやすい訓練を定期的に行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		定期的な見直しを行い、全職員へ周知を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		契約時や通院時等に情報共有いただき、職員間でも共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		事前に調査を行い、アレルギーについては細心の注意を払っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画を事務所内に掲示し、いつでも確認できるようにしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		閲覧ファイルに保管されています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		回覧を行い、再発防止や未然に防ぐための検討機会を設けています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		定期的な研修の機会があり、職員間での話し合いの機会も設けています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		適宜情報共有を行い、対策の検討を行っています。	